

12/1 かいほり実施しました！



池の水を抜き清掃、天日に干すことを「かいほり」といいます。木下先生の解説付きで、大人も子供も池の生き物に興味津々でした

【飯盛山やトングリ山などの里山】

- 今は道がないが、昔は、春の節句にのみなどでお弁当を持って山の腹の岩場まで登った
- 子供の頃は山頂まで競争した
- マツタケだけでなく正月飾りやクリスマスツリーも山に採りにいった

【地区全体】

- 江戸時代から続く歴史ある集落
- 山、池、川に囲まれ自然豊か
- 花がきれいで、虫もたくさんいる
- 生態系が豊か
- 空地や休耕田を利用して花畑や災害時の一時避難場所にできないか
- 人と人の繋がりをよく感じる

- 【西之池】
- コウノトリが来る
 - 鳥がよく来る
 - 昔は水の神様に関するお祭りをしていた
 - 「かいほり」で水質調査をした
 - ザリガニやおたまじやくもたくさんいた
 - 周辺の草地を整備してベンチを置き、憩いの場にしては

●昔は蓮の花がたたくさんが咲いていた

- 昔の「馬塚」で今でも近隣住民で清掃を行う
- 子供の頃は「ためき山」や「古山」と呼んでいた

- 消防車庫
- 消防格納庫

- 【蔵島神社】
- 西山の大切な場所
 - お堂に冷暖房を設置するなど使いたくしたい

- まちの真ん中に広場がある
- 遊具を新しくしたい

- 【西川】
- コウノトリが来る

- 【弥陀三尊種子板碑】
- 【弥陀一尊種子板碑】

【西山公会堂】

- 「いきいき百歳体操」や「西山サロン」が開催され、皆の集う場所
- キッチンがあるともっと気軽に集える
- 公会堂まで車で入れる道があるとさらに集いやすい
- 避難所など、災害時に対応できる場所になってほしい

- 防火水槽

- 井戸がある

【地藏堂】

- 今も地藏盆を開催

【篆刻地藏板碑】

- ほほえみ地藏、石棺石仏・板碑

- ヤギがいる

- 井戸がある

- 池は昔の田んぼの堀の一部
- ザリガニがよくいた

【西山遺跡】

- 今でも石器が出る



※区域境界線は仮で記載しているものです。「田園まちづくり計画」の対象区域は今後の検討において決定されます。

西山地区

田園まちづくり ニュース No.4

NISHIYAMA Denmachi NEWS

発行元：西山地区まちづくり協議会

発行月：2025年1月



第3回協議会を開催しました

11月17日(日)、第3回西山地区まちづくり協議会を開催しました。今回は、「田園まちづくりアンケート」の結果報告とまちづくりワークショップを行いました。ワークショップでは、アンケートやまち歩き(10/2 実施)で寄せられた意見を踏まえ、魅力と課題について再度確認しました。

これまで、魅力としては、地域の伝統行事や生き物の出現スポットの他、ザリガニ釣りなどの昔遊び、場所のいろいろな呼び方、地区内の繋がりなどが挙げられています。

課題としては、水害の浸水エリアであること、幹線道路や交差点の危険性、夜間の暗さや空家・休耕田に対する不安などが挙げられました。一部の課題については、その解決に向けた企画や具体的な取り組みアイデアも出されました。

最後に、西山地区の特色を表すキーワードを挙げ、「まちづくりの目標」を考えました。豊かな自然や生態系に関する言葉、伝統行事、また、人と人の繋がりや絆を表すのがよいのではないかといった意見が出ました。

次回、これまでの検討内容を踏まえ、取りまとめた「まちづくりに関する方針」(案)が提示される予定です。引き続き、ご参加の程よろしくお願いいたします。



渡り鳥がよく来るよ

ワークショップの様子

子供の頃、「ためき山」と呼んでいた



課題解決のためできそうなこと...

若者の行動力と年配の知恵を活かそう

【第4回協議会】

1/25 (土)
19:00 ~ 21:00
西山公会堂にて

「まちづくりに関する方針」(案)を確認します。

【第5回】 2/23 (日) 19:00 ~ 21:00

- アンケート集計結果【概要版】・・・P.2-3
- 西山地区の魅力や活用アイデア(これまでの意見のまとめ)・・・P.4

にてご覧いただけます

「西山地区田園まちづくりアンケート」集計結果【概要版】

<調査概要>

- 実施期間：2024年10月12～20日
- 実施対象：西山地区内の全戸
- 配布数：98票
- 回収数：90票 ※うち5票は未記入等により無効票

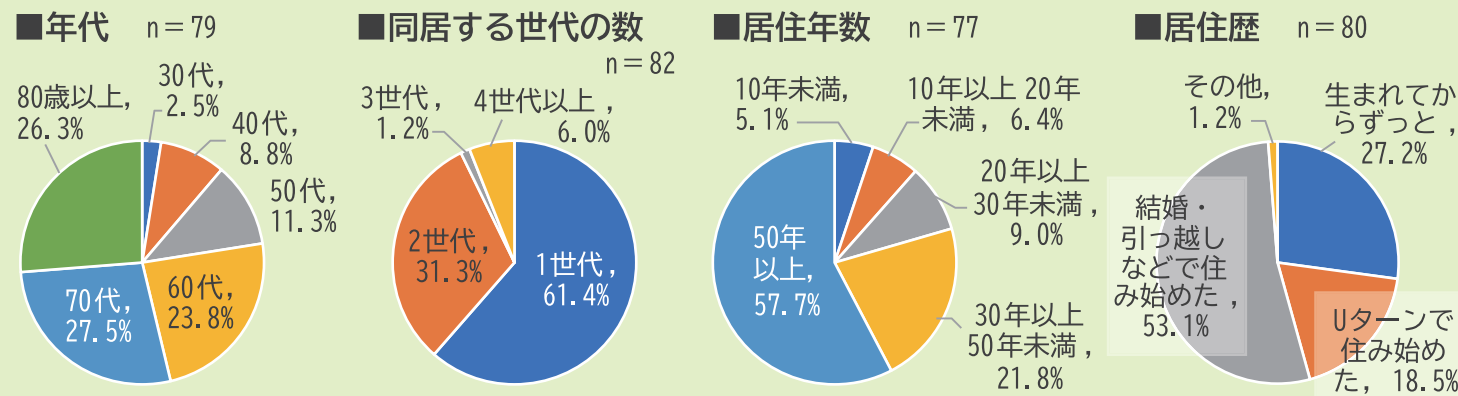
※「n」は設問ごとの有効回答数を表します

※数値は全て小数第二位で四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません

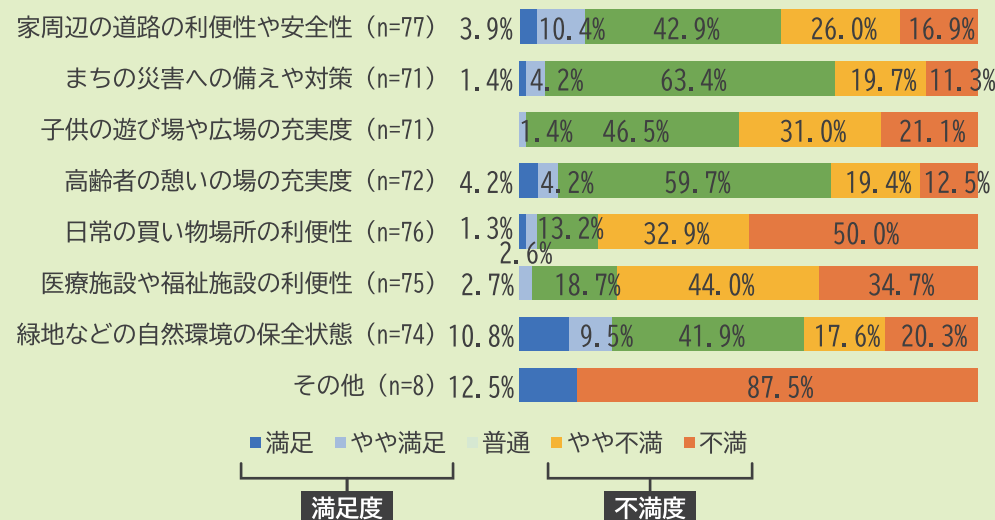
回答者は、「60代以上」の方や一人暮らしや夫婦のみの「1世代」でお住まいの方が多く、居住年数を見ると「50年以上」の方が6割近くとなっています。

住環境のうち、最も満足度が高いのは「緑地などの自然環境」(20.3%)や「家周辺の道路の利便性」(14.3%)ですが、一方で、不満度も3～4割と一定数みられ、評価が分かれています。不満度が特に高いのは「日常の買い物」(82.9%)と「医療施設の利便性」(78.7%)でした。住みよさについては、「普通」が約50%、残りの50%は「住みよい」と「住みにくい」でほぼ同数となりました。

まちの魅力や資源として評価が高いのは「風景・眺め」や「田園・田畑」、さらに「町内のつながり」でした。「田園・田畑」はその管理状態が課題として挙げられ、その他、空家への不安も寄せられました。

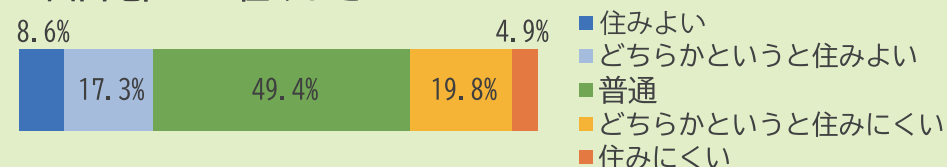


住環境への満足度とその理由



*「満足」「やや満足」を合わせて「満足度」、「やや不満」「不満」を併せて「不満度」と表現しています

西山地区の“住みよさ” (n=80)



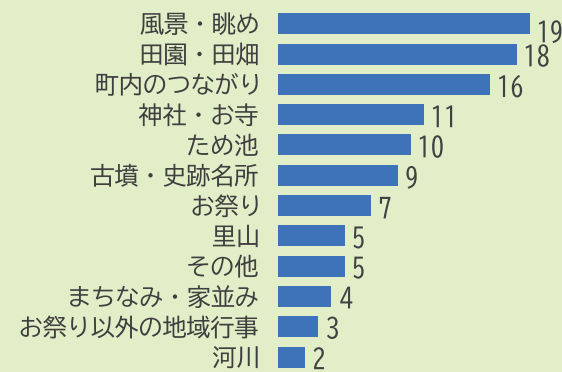
満足度評価の理由

満足な理由
 消防団がある／まちの中心に広場がある／西山サロンやいきいき百歳運動などいろいろな活動がある／神社がありいいところ／車で15分程度で買い物に行ける／緑豊か／なんでも協力してできる地域

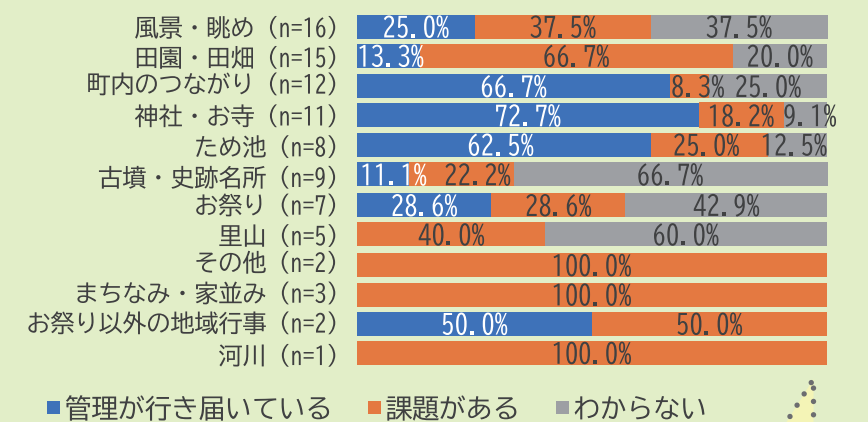
不満な理由
 町内の道は狭い／幹線道路は歩道がなく危険／街灯が少ない／公共交通機関が不便／避難所がない／災害への備えの詳細を知らない／子供が安全に遊ぶ場所が少ない／行事の世話が大変／買い物場所・医療施設は車がないと行けない／公会堂が狭い／管理されていない休耕田や空家がある／下水道が整備されていない

行事への参加度が高い一方、「運営や世が大変」というご意見もありました。宅地については引き続き所有する意向が高く、農地や事業所においては「売却したい」・「事業をやめたい」という意向が多くなっています。次世代(子供)の居住意向は「わからない」が半数以上、地区外からの移住者については「どなたでも」と答えられた方が7割を超えています。

西山地区の魅力や資源



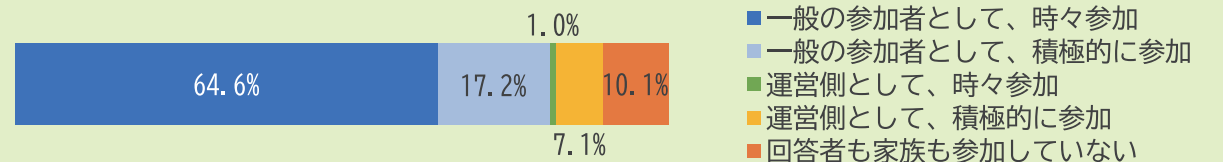
魅力や資源に対する評価



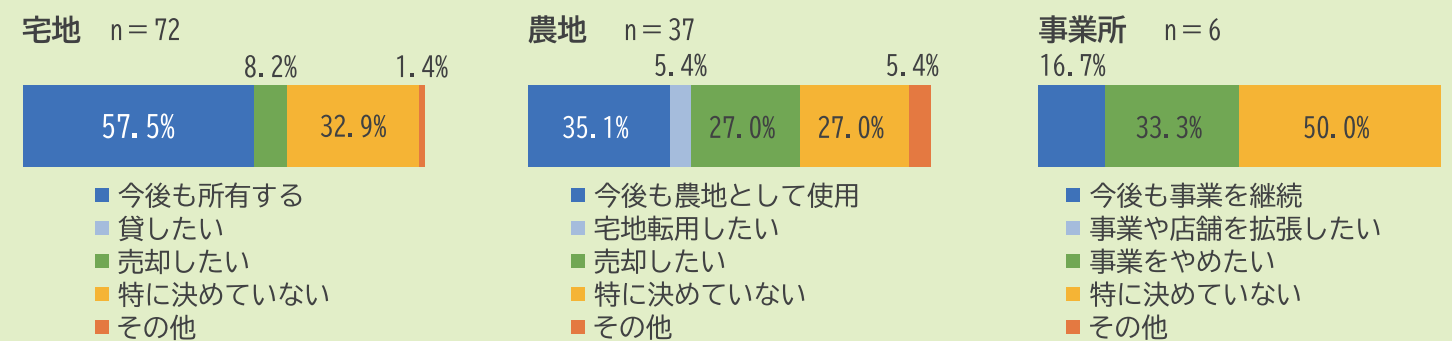
魅力や資源への評価、課題解決のためのアイデア

- 魅力** 山、池、川に囲まれた自然豊かな西山を続けたい
- 課題** 里山の管理/休耕田の雑草/道路や河川の草刈り/お祭りや古墳・史跡名所の継承/神社の世話人・管理人の高齢化/少子化
- 魅力の継承や課題解決のためのアイデア** 公会堂・神社へ車でいける道を整備する/公会堂を避難所など災害に対応できる場所に/農作物など、西山ならではのものを名物としてPRしては/空家の活用を考えては/ため池周辺にベンチを設置して憩いの場・語らいの場にしては/町内の田畑を公園や広場として活用する/休耕田や空家を行政へ引き渡す制度づくり/お堂に冷暖房があれば使いやすい/イベントや大会を増やしたい/人と人の繋がりを継承していきたい

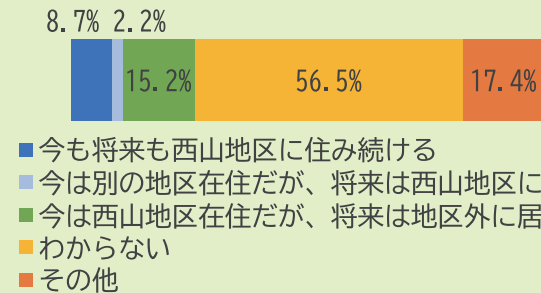
回答者や家族の地域行事への参加度 (n=99)



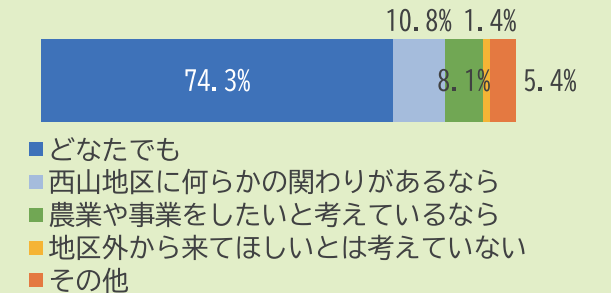
土地の活用意向



子供の居住意向 (n=46)



地区外からの移住者に対する考え (n=73)



*さらに詳細をお知りになりたい方は、協議会へお問い合わせください。資料をお渡しいたします